

対象期間

令和5年4月～令和6年3月

エコアクション21
環境経営レポート

西南自動車工業株式会社

令和6年7月20日

〒819-8558
福岡県福岡市西区福重3丁目1番11号
TEL 092-891-4411

目次

P 2 環境経営方針

P 3 組織の概要、認証・登録対象範囲及び実施体制

P 4 , P 5 環境経営目標

P 5 環境経営計画

P 6 環境目標実績

環境活動計画の取組結果とその評価及び次年度の取組

P 7 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

P 8 代表者による全体評価と見直し指示の結果

環境経営方針

企業理念

当社の経営方針は“ベストサービスの提供で企業の発展を目指し、地域社会に貢献する”
品質方針については、的確な診断、最適な技術、快適な接遇により顧客満足を実現し
豊かな車社会に貢献します。又地球環境及び地域環境の保全に配慮して行動します。
(2000年10月 ISO9001 認証取得時に制定)

環境理念

環境問題は、自動車整備・販売に携わる事業者として環境にやさしい整備工場を目指す事は
最重要課題です。二酸化炭素排出量、廃棄物排出量そして水使用量の削減を継続的に取り組みます。
また、エコ整備の普及・促進を通じて、燃料消費率向上による二酸化炭素排出量の削減や、排出ガス
の清浄化により社会に貢献します。さらに省エネである低公害車の販売に努めます。
企業のあらゆる活動面で、地球環境及び地域環境の保全に配慮して行動します。

環境行動方針

1. 二酸化炭素排出量・削減の推進（自社における削減）
事業所内の整理・整頓・清潔・清掃に留意します。事業活動に於ける電力・ガソリン・軽油など
の削減による二酸化炭素排出量の低減に努めます。また社用車における、アイドリングストップ、
エコドライブやエコ整備（環境汚染防止整備）の普及・拡大を継続的に推進します。
2. 廃棄物排出量・削減の推進
事業所から出る廃棄物を最小限にする努力をします。そのために、分別処理を推進します。
3. 総排水量・削減の推進
事業所内で使用する使用水量の削減により、総排水量の削減に努めます。
4. 溶剤等化学物質使用の最適化に努めます。
5. エコ整備・エコ車検の推進（お客様における二酸化炭素の削減）
自動車における燃費の向上で、有害な排出ガス清浄化で削減を目ざし、エコ整備（環境汚染防止
整備）を強力に推進します。そのために、エコ整備の有用性についての説明技術やエコ整備技術
の向上に努めます。
6. リサイクル活動による省資源化の推進
省資源のために、自動車リサイクル部品の使用を重点的に推進します。
7. 環境関連法規制等の遵守
環境関連法規制等を遵守することを誓約します。
8. 環境経営の取組は必須であることから環境に対する取組を定期的に検証し、継続的改善を
図っていきます。

制定日 平成 19 年 5 月 14 日
改定日 令和 2 年 7 月 3 1 日
西南自動車工業株式会社
代表取締役 羽 根 孝

■ 組織の概要

当社は昭和25年に姪浜タクシーの社内整備部門からスタートし、昭和39年に分離独立して一般向けの自動車整備を開始しました。昭和44年に認証工場、昭和48年に指定工場の資格を取るとともに業務を拡大、社員数も全工場合わせて94名の事業を展開しています。

2000年10月には、ISO 9001を取得し品質向上に努め、2001年10月には、福岡陸運支局長の「環境に優しい整備工場」として表彰されました。

EA21については2008年8月に認証・登録して継続的な取り組みを実施しています。

(1) 事業者名

西南自動車工業株式会社

代表取締役 羽根 孝

(2) 所在地

〒819-8558 福岡県福岡市西区福重3丁目1番11号 (本社)

〒819-1103 福岡県糸島市高田1丁目2-5 (前原工場)

(3) 環境保全関係の担当者連絡先

環境管理責任者 前田 正明

担当者 事務局 安河内 一郎

連絡先 電話；092-891-4411 FAX；092-891-3890

(4) 事業概要 (対象活動)

自動車の整備と販売及び钣金・塗装

(5) 事業規模

売上高 196 千万円 (令和5年9月度)

社員数 94 名 (令和6年6月現在)

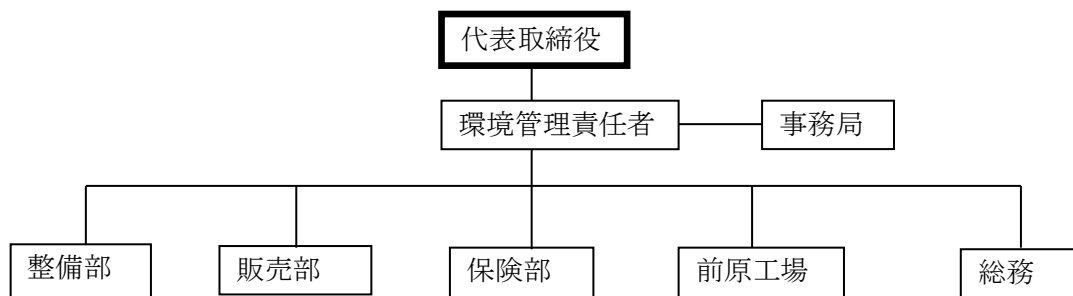
社屋床面積 8,250 m² (本社)

1,240 m² (前原工場)

■ 認証・登録対象範囲及び実施体制

* 対象組織

本社、前原工場、の全組織、全活動が認証・登録の範囲です。



■ 環境経営目標

(1) 令和5年度環境経営目標

令和5年度の環境目標は次の表の通りです。

目標	単位	基準年度実績 (平成30年度)	令和 5年度目標
二酸化炭素排出量	総量 (kg-CO ₂)	320,415	304,394 (▲5%)
産業廃棄物排出量	総量 (t)	92	88 (▲5%)
上水水使用量削減	総量 (m ³)	2,516	2,390 (▲5%)
地下水使用量削減	総量 (m ³)	914	868 (▲5%)
定期点検整備の促進	入庫台数 (台)	2,900	2,920 (+0.7%)
自動車リサイクルパーツ販売促進	販売金額 (千円)	14,054	14,124 (+0.5%)
溶剤等の適正取扱、管理の促進	kg/台	1.33	1.26 (▲5%)

* 電力二酸化炭素排出係数は九州電力 2017 年度調整後の排出係数 0.463kg-CO₂/kWh を採用しています。

二酸化炭素排出量、産業廃棄物排出量、水使用量については、平成 30 年度実績を起点として毎年 1% ずつ削減することを目標としています。定期点検整備及び自動車リサイクルパーツ活用は全体の状況から判断して設定しています。

(2) 令和5年度以降の環境経営目標

エコアクション21取組開始時の考え方に従って目標を設定しています。

- ・ 二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量については平成 30 年度の実績を基準として毎年 1% 削減する。
- ・
- ・ 定期点検整備については顧客への積極的な案内を行ない、基準年度+0.7%2,920 台を目標とする。
- ・ リサイクルパーツは、基準年度+0.5% 14,124 万円を目標とする。

〔令和5年度までの目標値〕

年間総量		平成30年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	令和5年度目標
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	320,415	310,802 (▲3%)	307,598 (▲4%)	304,394 (▲5%)
産業廃棄物排出量	t	92.89	90 (▲3%)	89.17 (▲4%)	88.245 (▲5%)
上水水使用量	m ³	2,516	2,441 (▲3%)	2415.3 (▲4%)	2,390 (▲5%)
地下水使用量	m ³	914	887 (▲3%)	877 (▲4%)	868 (▲5%)
定期点検整備の促進	台	2,900	2,920 (+0.7%)	2,920 (+0.7%)	2,920 (+0.7%)
自動車リサイクルパーツ販売促進	千円	14,054	14,124 (+0.5%)	14,124 (+0.5%)	14,124 (+0.5%)
溶剤等の適正取扱、管理	Kg/台	1.33	1.29 (▲3%)	1.276 (▲4%)	1.26 (▲5%)

二酸化炭素排出係数は九州電力2017年度調整後の排出係数0.463kg-CO₂/kWhを採用しています。

* 令和5年度が中期目標期間の最終年度です。

■ 環境経営計画

(1) 数値目標を達成するための取組

1) 二酸化炭素排出量（省エネに関する取組）

- ① 社用車の効率的な運転管理の推進
整備車両の引き取り・納車の合理的な運行
- ② アイドリング時間の削減、アクセルむらのない運転の推進
- ③ 社用車の定期的整備による燃料効率の向上
- ④ 燃料効率のよい車両への代替促進（社用車を極力、燃費の良い軽自動車に代替）
- ⑤ 昼休みの照明の部分消灯およびパソコンは極力待機電力とする。
- ⑥ 買い替え時には、省エネタイプのOA機器の導入
- ⑦ 室内空調は、顧客に不快を与えない程度に管理する。
- ⑧ エアコンフィルターの清掃
- ⑨ エアークロス配管のエアー漏れの点検を毎日に行う。
- ⑩ 乾燥用赤外線ランプ使用は時間を置いて電源投入し、計画的に使用する。

2) 廃棄物の排出量（リサイクルに関する取組）

廃棄物の分別を徹底し、熱回収や再生利用の比率を上げると共に、削減に努める。

- ① 一般廃棄物：新聞紙、段ボール、の分別処理
- ② 産業廃棄物の金属クズ、廃プラスチック、廃バッテリー、廃タイヤ、廃油、の分別処理

3) 水使用量（節水の取組）

- ① 水道ホースにストッパーノズルを取り付け、たれ流しを防止し節水を行う。
- ② 自動洗車機使用時は、2往復洗車を1往復に徹底
- ③ 水を使用しての溝掃除は週1回（火曜）、最低限にする。

4) 定期点検整備の促進

- ① 定期的な整備の促進で燃費を良くする
- ② 車検、定期点検でもエコ商品の販売を促進する。

5) 自動車リサイクルパーツ販売促進

- ①修理見積時、お客様に説明の上、新品部品とリサイクル部品の二通の見積もりを出し販売促進を図る。
- ②事務用品のグリーン購入品目を把握し責任者に報告する。
- ③リビルト品の積極活用。

6) 溶剤の適正管理

- ①使用する溶剤等の適正取扱い管理を行う。

(2) その他の取組事項

アイドリングストップ車等EV、HV、エコカーの販売促進を強化する。

■ 環境目標の実績

令和5年度（令和5年4月～令和6年3月）の環境目標の実績は次の表の通りです。

* 電力二酸化炭素排出係数は九州電力2017年度調整後の排出係数0.463kg-CO₂/kWhを採用しています。

項目	単位	5年度目標	5年度実績	達成率
二酸化炭素排出量	Kg - CO ₂	304,394	261,449	○(116%)
産業廃棄物排出量	t	88	69.47	○(126%)
上水使用量	m ³	2,390	1,870	○(127%)
地下水使用量	m ³	868	717	○(121%)
定期点検整備の促進	台	2,920	4,215	○(144%)
自動車リサイクルパーツ販売促進	千円	14,124	7,174	×(50%)
溶剤等の適正取扱い管理	Kg/台	1.26	1.29	×(97%)

※達成率は、(目標/実績)×100で算出した。

* 定期点検整備の促進、自動車リサイクルパーツ販売、溶剤等の適正取扱い管理は実績/目標で算出した。

* 溶剤等の適正取扱い管理(年度実績＝溶剤使用量：1,825Kg /整備台数：1,434台)。

■ 環境活動計画の取組結果とその評価及び次年度の取組

(1) 二酸化炭素排出量削減の取組

二酸化炭素排出量削減の達成率は116%であった。

目標は達成できた、昨年以上に削減できている

気象状態が変化中出来るだけ削減を行う。

(2) 産業廃棄物排出量削減の取組

産業廃棄物削減の達成率は126%であった。

分別処理で再利用できる物を多く出すことができ排出量が削減できた分別処理を維持していく。

(3) 上水使用量削減の取組

水使用量削減の達成率は127%であった。

全社共、大半の使用量が車の洗車に使用している、洗車メニューの改善で今年は節水が出来たが使用量は入庫が多くなると洗車台数も多くなるので節水に努める。

(4) 地下水使用量削減の取組

地下水使用量削減達成率は121%であった。

工場自体が古い為監視を行い錆の頻度が悪い場合は早目の工事を行う。

(5) 定期点検整備の促進

定期点検整備の促進の入庫達成率は144%であった。

リース点検などパック商品の販売で定期点検整備の入庫が多くなり燃費の良い車の整備が出来ている。

(6) 自動車リサイクル販売促進の取組

自動車リサイクル部品推進の達成率は50%で、目標を達成出来なかった

リース車両の整備はリビルト、リサイクル品は、リース会社支給が多くなり売り上げも減少した次年度目標の設定を見直す。

(6) 溶剤等の適正取扱い・管理

達成率は97%達成できなかった、毎月溶剤の使用量の把握を行い、適正管理使用を行ったがもうすこしの所だった今年度同様削減を行う

(7) 社員の意識高揚への取組

夏場の環境が変わり高温状態がつづく中CO2削減を行う。

■ 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社に適用される環境関連法令の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。また、関係機関、利害関係者からの指摘及び訴訟もありませんでした。

法律の名称	遵守状況（適・否）
廃棄物処理法	適
自動車リサイクル法	適
消防法	適
家電リサイクル法	適
資源有効利用促進法	適
小型家電リサイクル法	適
フロン排出抑制法	適
騒音規制法	適
振動規制法	適
下水道法	適
労働安全衛生法	適
悪臭防止法	適

■ 代表者による全体の評価と見直し、指示

環境目標については、6年度から目標の再設定になり各取組の削減が難しくなっていくが各目標に取り組んでほしい、又洗車機が1機増設となるが水の使用量が多くなならない様に使用してほしい。